

みずほCustomer Desk Report 2017/10/11号(As of 2017/10/10)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.79 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.68	1.1741	132.30	0.9798	1.3147	0.7758
SYD-NY High	112.83	1.1825	132.87	0.9799	1.3227	0.7797
SYD-NY Low	111.99	1.1740	132.25	0.9736	1.3134	0.7750
NY 5:00 PM	112.46	1.1808	132.82	0.9749	1.3204	0.7778
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.82/9.195		△25RR	1.538	Yen Call Over	
NY DOW	22,830.68	69.61	債券市場			
NASDAQ	6,587.25	7.52	日本2年債	-0.1440	▲0.8bp	
S&P	2,550.64	5.91	日本10年債	0.0550	▲0.1bp	
日経平均	20,823.51	132.80	米国2年債	1.5123	0.8bp	
TOPIX	1,695.14	7.98	米国5年債	1.9595	0.3bp	
シカゴ日経先物	20,855.00	135.00	米国10年債	2.3607	0.2bp	
ロンドンFT	7,538.27	30.38	独10年債	0.4420	▲0.2bp	
DAX	12,949.25	▲27.15	英10年債	1.3630	0.6bp	
ハンセン指数	28,490.83	164.24	豪10年債	2.8310	1.0bp	
上海総合	3,382.99	8.61	為替市況	USD/CNH	6.5667	▲0.0487
USDJPY 3M Vol	8.83	▲0.05%		ドルインデックス	93.29	▲0.38
USDJPY 6M Vol	9.19	▲0.04%	商品市況	CRB指数	183.196	2.24
EURJPY 3M Vol	8.53	0.03%		NY金	1,293.80	8.80
EURJPY 6M Vol	9.08	0.05%		WTI	50.92	1.34
				Dubai Spot	54.16	0.75

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月10日	8:50	日 経常収支/貿易収支	8月 ¥2,380.4B/¥318.7B	¥2,223.3B/¥264.3B
	15:00	独 貿易収支/経常収支	8月 20.0B/17.8B	19.5B/17.0B
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	8月 0.2%/1.6%	0.2%/0.9%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	8月 0.4%/2.8%	0.2%/1.9%
	17:30	英 貿易収支	8月 -£5,626M	-£2,800M
	23:00	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

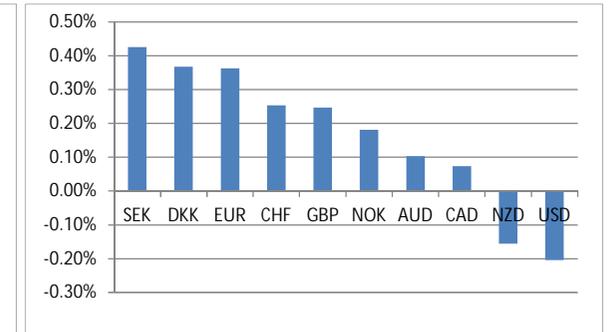
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月11日	9:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-0.4%
	20:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
10月12日	3:00	米 FOMC議事要旨	-	-
	3:40	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.80-112.90	1.1750-1.1850	131.30-133.30

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル/円は、ドル安の動きを受け下落。日米連休明けでドル/円はやや軟調に推移する中、欧州時間に入りユーロが上昇しドル安の動きとなったこと、また米国金利がショートカバーで低下する中、ドル/円は一時111.99まで下落。しかしその後は株価などのリスク資産が堅調に推移する中買戻しが入り、結局112.46でクローズ。本日については、ドル安の動きが継続するかがポイントとなるであろう。注目材料としてはFOMC議事録が発表される。

東京	朝方に発表された本邦8月経常収支は市場予想を上回る黒字額となったが市場の反応は限定的となり東京時間のドル円は112.68レベルでオープン。五・十日に当たること等から仲値にかけてはドル買いワローが強まり一時112.83まで上昇。しかし、この日は北朝鮮の朝鮮労働党総研記念日に当たり警戒感が漂う中、一段と上値を追う展開とはならずその後は伸び悩んだ。目立った新規材料のない中、112円台半ばから後半にかけての狭いレンジ内での推移が続き、112.64レベルで海外へ締結した。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドルは全般的に売られた。ドル円は112.64レベルでオープン。米税制改革実行に対する市場の懐疑的な見方から調整のドル売り地合いとなっていた中、北朝鮮やスペイン北東部カタルーニャ自治州の独立問題を巡るスペイン情勢懸念から安全資産とされる米長期債が買われ(イールドは下落)ドル円は安値112.28を付けた後、112.30レベルでニューヨークへ渡った。ポンドドルは上昇した。1.3170レベルでオープン。好調な英9月小売売上高、8月製造業生産・鉱工業生産の結果や「英国はEUとの交渉決裂であればNAFTA加盟」との一部報道が加わり一時1.3203まで上昇した。1.3195レベルでニューヨークへ渡った。ユーロドルは1.1784レベルでオープン。ドル軟調な中、高値1.1807を付けるも、スペインの警察当局は10日にカタルーニャ州首相が州議会に独立を宣言すれば直ちに逮捕する準備があると報道され上値は抑えられた。1.1797レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は112.30レベルでオープン。連休明けのNY市場は、主要な米経済指標の発表は予定されていなかったものの、週末にトランプ大統領と共和党のボブ・コーカー上院議員がお互いに非難しあったことから、税制改革案が難航するとの見方に米金利が低下し、更にドル売りが優勢となり111.99まで下落する。しかし、その後は米金利が下げ渋ったことに加え、株式市場が堅調に推移したことからもドル円はじりじりと値を戻し、112.46レベルでクローズした。一方、ユーロドルは前日にラテンアメリカ-ECB専務理事が資産購入縮小の必要性について発言したこと等から海外時間に入り、1.1807まで戻し、1.1797レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、米金利低下を受け再びドル売りが強まったことから1.1818まで戻す。午後に入り、カタルーニャ自治州のプッチェン首相が独立宣言を一時保留し、混乱回避の為に中央政府と対話することを提案したとのニュースを受け1.1825まで上昇する。終盤に掛けては1.1810付近での閑散な推移が続き、1.1808レベルでクローズした。(NY17:00)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。